

バーチャル ユニバーシティの実践

米国大学との遠隔授業



●遠隔授業って？

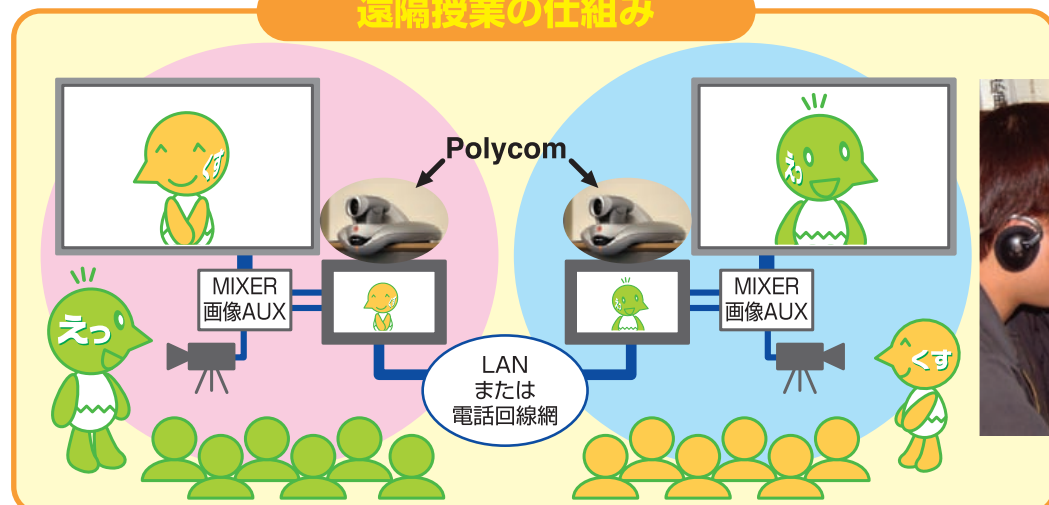
私が行っている遠隔授業は、ポリコム（右図参照）というテレビ会議システムを使い、三重大とアメリカの大学を同時につないで、日本人とアメリカ人の学生が直接に共同授業を受け意見交換をする、というものです。1998年以来後期の授業でノースカロライナ大学ウィルミントン校及び^{※1}ミシガン大学と行っています。時差が13時間もあり、日本の午前8時50分は向こうでは前日の午後6時50分で、アメリカ人の学生に待機してもらっているのです。

※1 ノースカロライナ大学ウィルミントン校【URL】 <http://www.uncwil.edu/> ※2 ミシガン大学【URL】 <http://www.umich.edu/flash.html>

●授業内容

1学期のうち間隔を空けて4～5回、教育学部英語科を中心とした学生と、アメリカの「日米文化比較」や「日本語」受講学生とで遠隔授業を行います。「キャンパスライフ」、「恋愛」、「就職」、「教育」などのテーマを決め、英語で討論を行うことで互いの文化について理解をより深める、と同時にこれまで学習してきた英語を実際にコミュニケーションの場で使用し、さらにその能力を高めることを目的としています。

遠隔授業の仕組み



*ポリコムの仕組みは、ポリコムにインターネット回線とテレビ受像器を接続するのみ、という簡単なものです。回線速度にもよりますが、鮮明な画像とクリアで時間的ズレのない音声の特徴です。



▲インターネット上の授業掲示板を使い書面での意見交換や、パソコン画面で向かい合い二人だけの音声通信（「ネットミーティング」）を行うこともあります。

●受講生の反応は？

遠隔授業受講前は、日本人の学生もアメリカ人の学生も、どちらかといえば自国文化については否定的に、相手文化は肯定的に捉えています。しかし遠隔授業を通して両文化に同時に触れることにより、バランスのとれた文化感を身につけることが可能となります。

一方、質問への回答や即時の意見を求められた時、また続行中の討論にどのように加わり発言したらいいのか迷う時等、英語使用の難しさを痛感していますが、これらを乗り越えることでより実践的な英語力を身につけていきます。

●今後の課題

長年使用言語は英語でしたが、最近はアメリカ人学生にも日本語使用の機会を与え、場面により英語と日本語を使い分けることがあります。今後は、双方向の教育現場として、日本人学生にもアメリカ人学生にも、内容的・言語的に、種々な分野で有意義となる遠隔授業の展開を図っていきたいと思います。



三重大教育学部・教授
早瀬 光秋
Hayase, Mitsuaki

【URL】 <http://www.cc.mie-u.ac.jp/~lq20102/>